日本共産党の竹田えつ子です
こんにちはニュース 議会報告
No.225 2023年6月2週

くらしのご相談事いつでもお声かけください。

鴻巣市議会6月定例会開会

鴻巣市議会6月定例会は、6月8日（木）～6月28日（水）までの会期で開かれます。

4月の市議選で、現職16名、新人7名、元職1名が当選しました。新しい構成での初めての定例会となります。

6月定例会では、補正予算、障害者支援施設「あしたば第一作業所」と「川里ポプラ館」を「あしたばポプラ作業所」として総合福祉センター内に設置する議案、市税条例改正など10件の議案を審議します。

原口和久前市長を名誉市民とする議案出される

原口和久前市長を、名誉市民と決定するための議案が出されています。

鴻巣市名誉市民条例第1条で、広く社会、政治、文化の興隆に功績があり、郷土の誇りとして深く尊敬に値すると認めるものを、鴻巣市名誉市民とし、その功績を称えるとともに、市民の社会、政治、文化興隆に対する意欲の高揚を図ることを目的とすると謳っています。そして第4条では、(1)市の公の式典への参列　(2)市の施設の使用に対する便宜の供与、(3)その他、市長が必要と認めた特典又は待遇を与えることができるとしています。名誉市民としてふさわしいか、議会でしっかり審議していきます。

「市民と野党の共闘で政治を変える！」

6・4オール埼玉総行動に参加

「立憲主義をとりもどす！　戦争させない！　9条こわすな！　6・4オール埼玉総行動」が4日、さいたま市の北浦和公園で行われました。5500人の参加者とともに竹田えつ子も公園から浦和駅東口までパレードしました。

小出重義実行委員長は「市民と野党の共闘再構築のための集会とデモです。埼玉から『戦争絶対反対』の大きな叫びをあげよう」と強調。

慶応大学の小林節名誉教授がゲストスピーチし、「みなさんが自民党の改憲案の愚かさを語り、野党に対し『憲法を回復するために、選挙で一つになって』と言ってほしい」と呼びかけました。

野党から、日本共産党の田村智子副委員長、立憲民主党県連の小宮山泰子代表、社民党の福島瑞穂党首、れいわ新選組の依田花蓮・参議院政策委員、新社会党県本部の内海勝男委員長があいさつ。田村氏は「市民と野党の共闘こそが政治を変え、平和をあきらめない、暮らしに希望を開く唯一の道だ。岸田政権を解散・総選挙に追い込もう」と訴えました。日本共産党の塩川鉄也衆院議員、伊藤岳参院議員、梅村さえこ衆院北関東比例予定候補も参加しました。

集会で挨拶する田村智子副委員長・参議院議員、塩川鉄也衆議院議員、梅村さえこ元衆議院議員、伊藤岳参議院議員（右から）

北浦和公園で

皆さんのご意見・ご要望をお寄せください。要求実現のためご一緒に力を合わせていきましょう！
〒365-0031 鴻巣市ひばり野1-30-18　☎048-542-7072　FAX048-542-7101　携帯090-2553-5215
ホームページ　公式ウェブサイト　http://www.takeda-etsuko.com

少子化対策は看板倒れ

「こども未来戦略方針」素案

田村政策委員長が批判

記者会見する田村智子政策委員長＝２日、国会内

日本共産党の田村智子政策委員長は６月２日、国会内で記者会見し、１日に公表された政府の「こども未来戦略方針」の素案について、「全くの看板倒れだ。とてもじゃないが子育て世帯も若い世代も納得できない。日本の政治のあり方が問われている」と指摘しました。

田村氏は、素案で大きな予算措置をするのは児童手当の拡充や所得制限の廃止ぐらいだと指摘し「この程度の中身でも財源の裏付けを示すことができていない」と批判しました。

軍拡財源づくりに縛られ、税収確保のために、高校生がいる世帯への所得控除を見直す案が俎上にのっていると批判して、「大企業や富裕層に応分の負担を求める税制改革に踏み込まなければ、まともな少子化対策の予算措置はできない」と主張しました。

子育て世帯への重い負担となっている高等教育費に関し、大学院生に授業料の“出世払い”を求める内容になっていることに言及。「１０００万円近い奨学金返済を抱えて苦しむ院生と何人も会ってきた。そこに授業料も借金で担わせるのか」「こんな政策しか出せないようでは全くだめだ」と批判しました。

非正規雇用を拡大し、不安定で低収入な働き方を若い世代に広げてきた経済政策など「少子化の要因、とりわけこれまでの政策との関係での分析と反省がなさすぎる」と指摘。「日本の政治のあり方が根本から問われる課題として少子化対策を見ていかなければならない」と説きました。